

# NITTAIDAI MUNICIPALITY FORUM 2023

## TO THE NEXT...

日体大と自治体の挑戦は、これからも続いています

体育・スポーツ・健康づくりの交流で  
地域を活性化する

**NITTAIDAI**

**NITTAIDAI × 自治体**  
フォーラム2023

# 学校法人日本体育大学とともに、

# これからの「体育・スポーツ・健康づくり」を

# 語り合い、学び合う

日本全体の人口減少や少子高齢化とともに、  
経済のグローバル化の進展や新興国の台頭など、世界経済の環境変化が著しい昨今、  
「地方再生・創生」は国が掲げる重要課題です。  
学校法人日本体育大学が地方自治体と手を取り合い、  
体育・スポーツを通じた地域活性化に取り組み、はや9年。  
その成果は、着実に実を結び始めています。



## 理事長挨拶

平和のための手段として  
スポーツに勝るものはない



学校法人日本体育大学 理事長  
松浪 健四郎

来年はパリ・オリンピックを迎えます。本学も十数名の選手が出場内定しております。とにかく頑張ってもらって、国民に夢を与えてもらいたいと思っています。スポーツの力は私たちの想像を超えるものがあります。スポーツ基本法の冒頭にもあるようにスポーツは世界人類共通の文化である。どんなに国が違って同じルールで戦うことができる。相互の理解を深めることができる。これほど平和のための手段として勝るものはないと思います。

日本体育大学は、国民の健康スポーツの振興を考える大学として、132年の歴史を積み重ねてまいりました。地域社会はもっと元気にならなければいけません。加えて政府は人生100年時代を謳っています。さらにスポーツ庁は全国の中学校の部活動について、地域移行を図ることとしました。本学は、地域社会や地方自治体の皆さんのために、さまざまな形で協力しなければならないと思っています。どうか日本体育大学を思い切り使っていただき、地域社会の子どもたちには大きな夢と希望を、お年寄りに元気を与えていただければありがたいと考えております。

## 式次第

- 16:00 開会
- 16:05 理事長挨拶  
学校法人日本体育大学 理事長 松浪 健四郎
- 16:10 学長挨拶  
日本体育大学 学長 石井 隆憲
- 16:15 セミナー
  - 1 基調講演  
石川県知事 馳 浩 氏
  - 2 事例発表 ①  
島根県大田市 市長 楢野 弘和 氏
  - 3 事例発表 ②  
長野県東御市 市長 花岡 利夫 氏
- 17:30 名刺交換 / 特別講演  
特別ゲスト 自由民主党 衆議院議員 二階 俊博 氏
- 19:20 閉会の挨拶  
学校法人日本体育大学 常務理事 今村 裕

協賛：旭日電気工業株式会社

## 学長挨拶

### 新しいカタチでの資源提供で 自治体との連携を深めていく



日本体育大学 学長  
石井 隆憲

本学では2014年から自治体と連携協定を結び、大学が持つさまざまな資源の提供から始めました。大学側から提供できる資源は、当初はモノや教員たちが有する知的資源でした。しかし現在の社会状況からすると、従来の提供のあり方だけでは限界を迎えるのではないかと感じています。いわゆる単発的な提供の仕方ではなく、それらをプログラム化して、ステップアップしていくような提供の仕方が求められているのではないのでしょうか。本学でも近い将来、いくつかのパッケージを作り上げて提供できればと考えています。資源にはさまざまなものがあり、体育・スポーツの知的資源は、科学の発達とともに大きく変化します。かつて運動時には水を飲んではいけないと言われていましたが、今は180度変わり、運動時には水分補給をしなければいけません。今まで当たり前だと思っていた知識が変わる場面がたくさん出てきます。こうしたことから本学は最新の科学に基づいた理論や方法を皆さんに提供できるのではないかと、そしてそれが自治体の皆さまの安心安全に繋がっていくのではないかと考えています。

## 事例発表

### 子どもへの支援を中心として スポーツ活動の推進と 資源の活用を進めていく



島根県大田市 市長  
楯野 弘和 氏

今日は、島根県大田市の現状や課題、そして日本体育大学との連携についてお伝えしたいと思います。連携協定に基づく取り組みと課題は主に三つありまして、一つ目の課題は、少年スポーツ活動の推進および指導者育成です。大田市では軟式野球や女子バレーボールなどが盛んで、地元の子供たちが全国大会で活躍しています。しかし、過度な指導が子供たちにプレッシャーや肉体的負担をかけてしまうことも懸念され、専門的な指導者の養成や保護者への理解促進が必要です。これに関して、日本体育大学の力をお借りして研修会や勉強会を開催できればと考えています。二つ目の課題は、スポーツ活動の推進と健康づくりの向上です。目下、2030年開催の国スポ・全障スポへの対応が大きな課題と捉えて

おり、特に大田市で盛んな弓道においては、市内高校が強化指定校となることを目指したいと考えております。この点においても日本体育大学弓道部との交流を通して指導いただくことを期待しております。三つ目の課題は、大田市特有の資源の活用です。三瓶山西の原クロスカントリーは大会や合宿に利用されていますが、大会のオンライン実施に伴い利用者が減少しています。来年は再び大会を開催し、日本体育大学や他のスポーツ部にも利用いただきたいと考えています。ご報告は以上となりますが、大田市も他の連携自治体に負けぬよう取り組みを行っていきたくので今後ともご指導のほどよろしく申し上げます。

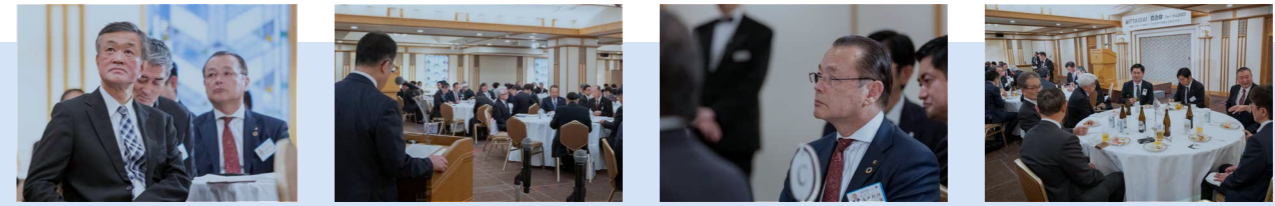
### 日本体育大学との協働を 市民の健康と幸せに 繋げていく



長野県東御市 市長  
花岡 利夫 氏

東御市は、旧東部町と旧北御牧村が合併し、一文字ずつ取り名付けられました。難読市ランキング一位になったこともあります。市の真ん中を千曲川が流れ、人口3万人弱の小さな市です。笹川スポーツ財団のチャレンジデーの際に具志堅幸司先生に講演していただいて以降、日本体育大学からさまざまな方を派遣していただき、市民全体がスポーツで盛り上がる活動が続いています。その中で体操部の三宅良輔先生には講演のほか、体操部の夏合宿も当市でやっていただきました。その際には市民1000人と触れあっていただきました。さらに佐藤弘道さんや日体大OB・OGに地域おこし協力隊として来ていただき、スポーツを通して東御市を元気にしていただき、総合型スポーツクラブの立ち上げメンバーに入って

いただくなど日体大との関係が続いています。湯の丸には、標高1,750mの高地トレーニング用プールや国内最高地点にある全天候型400mトラックがありますが、こちらの誘致にも日本体育大学関係者のみなさまにお世話になりました。水泳の大橋悠依選手はこの高地トレーニング施設での練習後1週間後に金メダルを二つ取りました。東御市は、2023年11月には「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰(スポまち!長官表彰)」の受賞が決まり室伏長官から表彰されました。これからもさまざま活動を大学と共同しながら、市民の健康と幸せに繋げていけるように努力していきたいと考えています。





特別ゲスト

継続的な取り組みが未来を担う子どもたちに影響を与える

自由民主党 衆議院議員 二階 俊博 氏

日本体育大学が体育・スポーツ・健康づくりの交流を通して地域を活性化させるという壮大な計画のもとに全国78の地方自治体との連携協定を締結して各種の取り組みを積極的に行っていることに心から敬意を表します。この日本体育大学を軸とした自治体連携組織の取り組みが国民の心と身体の健康を

さらに前に進めていくということは、豊かな人間を作り、国の発展に大きく寄与されることに心から感謝と今後の活躍に大いに期待するものであります。その成果をさらに拡大し、地方自治体の発展と振興にご尽力されることをお願いしたいと思います。我々自民党も全力を傾けて支援していきたいと思っています。

基調講演

異色のキャリアを活かしてスポーツ振興に邁進

石川県 知事 馳 浩 氏

私は、大学卒業後、高校教員としてキャリアをスタートし、二年後にはプロレスラーに転身。その後10年間のプロレス活動を経て、最終的には参議院議員になりました。国会議員として37本の議員立法を成し遂げましたが、その中でも印象深いのがスポーツ振興法の成立です。この法律により全国でスポーツ少年団が組織化され、地域スポーツの振興が進みました。また、スポーツ基本法の制定にも関与し、スポーツの役割が世界平和に寄与する価値観を確立しました。現在は石川県知事として当地でのスポーツ振興に取り組んでいます。就任して

まず実行したのが、石川県スポーツ協会の会長に就任すること。その次が日本体育大学との連携強化です。指導者の育成や競技団体の強化、ハラスメントへの対応など、今日的課題に対して日本体育大学の先生方から研修を受け、あまねくアマチュアスポーツの基盤を整備したいと考えています。近年では障害者スポーツやアーバンスポーツの振興にも大いに力を入れており、多様な人々がスポーツに親しみ、楽しめるような環境づくりを進めています。これからも日本体育大学と心をひとつにして、スポーツ振興に取り組んでまいります。

閉会挨拶

日本を守るといふ決意のもと  
自治体の皆さまとの連携を強化していく



学校法人日本体育大学 常務理事  
今村 裕

2014年12月、美作市と連携協定を取り交わしたことを端緒に、コロナ禍の間は例外としても、毎年このフォーラムを開催してきました。今回は協賛企業として旭日電気工業株式会社にお越しいただいております。長年にわたり電気設備工事を手掛けてきた老舗有力企業であり、近年ではカーボンニュートラル事業にも注力しておられます。札幌、仙台、名古屋、大阪、広島、福岡に支店があり、社員は約230名、本学近くに引っ越されてから50年経ちます。前創業者が亡くなられた際には多額をご寄付いただきました。篤いご支援、改めて御礼申し上げます。昨今の世情を見ますと、いつこの日本に大きな危機が訪れてもおかしくありません。本学が進めている自治体との連携活動は、国を守るということを念頭にしています。今は78の自治体ですが、100の市町村を目標にしています。当別町や泉佐野市、紀の川市、みなべ町、小田原市、宮古市、氷見市、呉市、こうした市町村から毎年、小学生や中学生が本学に訪問いただいています。細かなものでも、要望をいただけたらそれになるべく応えていけるように努力をしていきたいと思っています。大学の統廃合が進む中、本学は横浜・健志台キャンパスの建て替えを実施し、入学定員の増員も進めています。本学も持続できるように最大限に努めております。日本体育大学が少しでも地方自治体の支援となればこれ以上の喜びはありません。ありがとうございました。

締結自治体(全国78の自治体)

2023年11月2日現在 ※締結順に掲載

- |            |            |            |                   |                 |
|------------|------------|------------|-------------------|-----------------|
| 美作市(岡山県)   | 大山崎町(京都府)  | 香美町(兵庫県)   | 市川三郷町(山梨県)        | 安芸高田市(広島県)      |
| 愛知県        | 勝山市(福井県)   | 徳之島町(鹿児島県) | 北杜市(山梨県)          | 市町村行政振興協議会(長崎県) |
| 紀の川市(和歌山県) | 呉市(広島県)    | 岩国市(山口県)   | 米沢市(山形県)          | 西宮市(兵庫県)        |
| 泉佐野市(大阪府)  | 柳井市(山口県)   | 岩美町(鳥取県)   | 三重県(地域連携部)        | 水俣市(熊本県)        |
| 北山村(和歌山県)  | 阿南市(徳島県)   | 品川区(東京都)   | 新潟県               | 郡上市(岐阜県)        |
| 小菅村(山梨県)   | 中標津町(北海道)  | 笠間市(茨城県)   | 鳥羽市(三重県)          | 四万十市(高知県)       |
| 網走市(北海道)   | 三種町(秋田県)   | 狭山市(埼玉県)   | 当別町(北海道)          | 南陽市(山形県)        |
| 江南市(愛知県)   | みなべ町(和歌山県) | 中山町(山形県)   | 東根市(山形県)          | 諏訪市(長野県)        |
| 駒ヶ根市(長野県)  | 守山市(滋賀県)   | 別府市(大分県)   | 北部広域市町村圏事務組合(沖縄県) | 島田市(静岡県)        |
| 七尾市(石川県)   | 厚木市(神奈川県)  | 宮古市(岩手県)   | 戸田市(埼玉県)          | 石川県             |
| 志賀町(石川県)   | 南魚沼市(新潟県)  | 始良市(鹿児島県)  | 須崎市(高知県)          | 大田市(島根県)        |
| 島原市(長崎県)   | 海士町(島根県)   | 桶川市(埼玉県)   | 中土佐町(高知県)         | 東御市(長野県)        |
| 中間市(福岡県)   | 男鹿市(秋田県)   | 常総市(茨城県)   | 沼津市(静岡県)          | 大村市(長崎県)        |
| 氷見市(富山県)   | 可児市(岐阜県)   | 大子町(茨城県)   | 東村山市(東京都)         | 那賀町(徳島県)        |
| 神崎町(千葉県)   | 東松島市(宮城県)  | 藤井寺市(大阪府)  | 幕別町(北海道)          |                 |
| 上越市(新潟県)   | 小田原市(神奈川県) | 都城市(宮崎県)   | 下呂市(岐阜県)          |                 |

学校法人日本体育大学を軸とした地域とのネットワークを構築し、地域の活性化を目指して、幅広く社会に貢献していきます

